

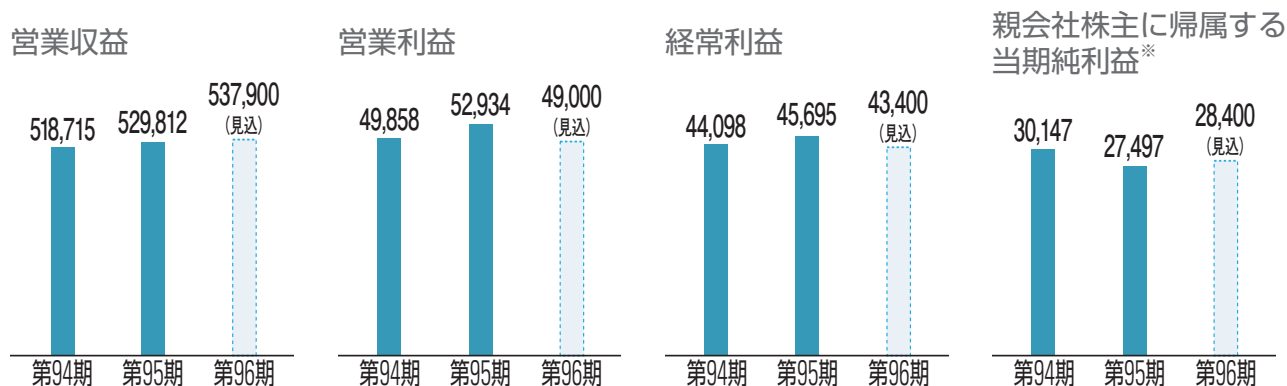
株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第95期の業績及び当社グループにおける取組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長 山木 利満



▶ 連結業績ハイライト (単位：百万円)



≫ 第95期連結決算の概要

営業収益は5,298億1千2百万円と、前連結会計年度に比べ110億9千7百万円の増加(前期比2.1%増)となりました。

これに伴い、営業利益は529億3千4百万円と、前連結会計年度に比べ30億7千6百万円の増加(前期比6.2%増)、経常利益は456億9千5百万円と、前連結会計年度に比べ15億9千7百万円の増加(前期比3.6%増)となりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益の減少等により、274億9千7百万円と、前連結会計年度に比べ26億4千9百万円の減少(前期比8.8%減)となりました。

≫ 第96期の見通し

第96期につきましては、運輸業等において、前期に受けた箱根大涌谷周辺での火山活動の活発化による影響から回復することに加え、流通業において、小田急百貨店新宿店での増収等により、営業収益は5,379億円(前期比1.5%増)を見込んでおります。

しかしながら、営業利益につきましては、運輸業や不動産業における費用の増加等により、490億円(前期比7.4%減)、経常利益につきましては、434億円(前期比5.0%減)を見込んでおります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損益の改善等により、284億円(前期比3.3%増)を見込んでおります。

≫ 複々線完成による効果の公表

当社では、輸送サービスの抜本的な改善策として、東北沢～和泉多摩川間(10.4km)の複々線化を東京都の連続立体交差事業と一体的に進めております。既に世田谷代田～和泉多摩川間(8.8km)については工事が完成し複々線による運転を行っており、現在は残る東北沢～世田谷代田間(1.6km)において、第97期の複々線完成、第98期の事業完了を目指し工事を進めております。

事業の進捗を踏まえ抜本的なダイヤ改正を2018年3月に予定しており、現在、ダイヤの検討を進めておりますが、今般、ラッシュ時間帯における混雑緩和や所要時間の短縮など輸送改善効果の内容がまとまったことから、本年4月28日に公表いたしました。詳細は、3～4ページをご参照ください。

